様式第３号

事務事業評価表（内部管理事務等）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 6 月 30 日

１ 事業名	国保給付事業				コード	64102
２ 担当部課	部等	市民環境部	課等	医療保険課	作成者	水野　康夫

３ 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち	
		政　策	福祉の充実	施　策	社会保障の円滑な運営
	予算科目	国保特会	業務委託	一部委託
	実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
	根拠法令	国民健康保険法		

●事業の実施内容（DO）

４ 事業の概要等

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

事業の概要（簡潔に）		国民健康保険加入者に適切な国民健康保険の給付を行って、被保険者に必要な医療等の保障を図る。
目的	対象者	岡谷市国民健康保険の加入被保険者
	意　図	適切な保険給付を行って、被保険者に必要な医療等の保障を図る

５ 事業の実施内容

＊28年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

国民健康保険の被保険者への医療・療養等の給付を行った。
一般国民健康保険加入者10,627人、退職者国民健康保険加入者318人を対象に、療養給付費2,963,377,196円（一般2,834,769,555円、退職128,607,641円）、療養費42,822,416円（一般40,982,942円、退職1,839,474円）、高額療養費（高額介護合算含む）427,393,984円（一般404,538,055円、退職22,855,929円）、出産育児一時金16,348,000円、葬祭費3,500,000円の支給を行った。また、支払審査手数料8,974,357円を支払った。

前年度の課題への対応	随時、朝礼時などに、その時々に必要な窓口等の対応について職員間で確認し合い、スムーズな窓口対応等サービス向上に心がけた。

６ ア）コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費		3,573,240,696	3,540,216,193	3,462,415,953	3,451,257,000
	経常経費	3,573,240,696	3,540,216,193	3,462,415,953	3,451,257,000
	臨時的経費	0	0	0	0
	＊臨時的経費の説明				
② 人件費		5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000
	正規職員の人数（人）	0.70	0.70	0.70	0.70
③ 合計コスト（①＋②）		3,578,840,696	3,545,816,193	3,468,015,953	3,456,857,000
	前年度比		99.1%	97.8%	99.7%
	財源内訳 一般財源	397,455,700	1,066,626,166	868,188,747	826,493,000
	財源内訳 特定財源	3,181,384,996	2,479,190,027	2,599,827,206	2,630,364,000
	＊特定財源の説明	療養給付費等に係わる国・県支出金及び一般会計繰入金等			
④ コストに関する補足説明					

イ）負担金、補助金、交付金の状況

［単位：件、円、%］

負担金補助金		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア）の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容（ACTION）

7　具体的な課題と改善

課題	（事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること） 窓口申請者や電話での問い合わせ等に対し、スムーズな対応を心がけるとともに、国保・医療サービスに対する内容の周知を行う。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 来庁者や電話による問い合わせがスムーズに対応できるよう、研修を行うとともに関係課との連携を深めていく。 また、チラシや広報等によるサービスの周知に努める。
改善開始時期	平成29年4月

●次年度の計画（PLAN）

8　次年度の方針	継続して実施	9　施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	B